

2023年度

S 4

## 小 論 文

2月25日(土) 教 育 学 部 (学校教育教員養成課程) 11:00~11:40  
【前期日程】

### 注 意 事 項

#### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

#### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて必ず解答用紙の表面のみに記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。解答用紙の裏面と下書き用紙の記述は採点対象となりません。)
- 5 問題は、声を出して読むではいけません。

#### 試験終了後

- 6 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読み【問1】【問2】に答えなさい。

現在、多くの子どもたちがインターネットを利用している。内閣府(2022)「令和3年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」によれば、小学生(10歳以上)のインターネット利用率は96.0%、中学生は98.2%、高校生は99.2%となっている。特にスマートフォンでのインターネット利用率を見てみると、小学生(10歳以上)は38.6%、中学生は72.6%、高校生は97.7%となっている。

資料1は、上記の「スマートフォンでインターネットを利用している」と回答した人における、スマートフォンの専用率を示したものである。

資料1 年齢別のスマートフォンの専用率



出典：内閣府(2022)「令和3年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

【問1】 今後、子どもたちに対して学校で情報モラル教育を実施する場合、どの年齢の子どもたちに、どのような内容を教えることが効果的であると考えられるか。実態調査の結果を踏まえて述べなさい。

【問2】 子どもたちのインターネット利用率が高まる中で、資料2のような事例が見られる。

もし、あなたのクラスの保護者が資料2のような相談をしてきた場合、教師としてどのようなアドバイスを行うか、この事例における家庭での対応の問題点を踏まえて、考えを述べなさい。

資料2 保護者からの相談事例

子どもが小学校5年生になったから、スマートフォンを買ってあげたんです。

「使いすぎないでね」ときちんと家庭のルールを決めたのに、自分の部屋でもリビングでもずっとスマートフォンを触っているんです。何をしているのかはよくわかりませんが、最近は夜遅くまで使っているようなんです。本人に注意しても「使いすぎてないから大丈夫だよ」と言っているんです。

先生、どうしたらよいのでしょうか？

解答用紙はB4サイズです。

受験番号

S 4

小論文(教育学部)解答用紙

※解答は、すべて必ず解答用紙の表面の枠内のみに入力して下さい。字数は問いませんが、枠内に読みやすく記述して下さい。裏面への記述は採点対象となりません。

【問1】

【問2】

## 採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（前期日程：令和 5 年度）	問題番号	S4
対象学部・ 学科（課程）等	教育学部		
出題のねらい	<p>出題のねらいは、本学部アドミッション・ポリシーに掲げられている「教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等」を問うことである。</p> <p>【問 1】では、資料の読み取りを通して、将来の学校の在り方に対する考え方や姿勢への記述をさせて、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力を測る。【問 2】では、指導・支援に対する具体的な考えや提案の記述を通して、教職への適性・志向性を測る。</p>		
採点基準	<p>〈問 1 配点 50% (75 点)〉</p> <p>①具体性：記述内容が具体的である</p> <p>②明証性：論拠や事実への言及が明確である</p> <p>③多層性：多様な視点や捉え方ができている</p> <p>〈問 2 配点 50% (75 点)〉</p> <p>①具体性：取り組みや活動の内容が具体的で分かりやすい</p> <p>②教職への志向性：児童生徒への適切な言及と教師・学校等への意志や興味の表出がある</p> <p>③多層（独創）性：独自のあるいは多彩な考え方や明確な意見の表明がある</p> <p>※ 各問の観点について、A：3つを満たしている、B：2つを満たしている、C：それ以外、の評点を付す（採点不能の場合は評点を付けず 0 点とする）</p> <p>※ 採点者 1 名につき、問 1・問 2 の評価を組み合わせ、得点に換算する</p> <p>AA→75 AB・BA→60 AC・CA・BB→50 BC・CB→30 CC→20</p> <p>※問 1・問 2 の両方もしくは片方が採点不能の場合は、以下のように換算する</p> <p>A→30 B→20 C→10 完全採点不能→0</p> <p>※ 解答 1 部につき 2 名の採点者を当てて採点し、両者の得点を合算して当該受験者の総得点（150 点満点）とする</p>		